

# 令和5年度(6年産)ビール大麦等生育概況②

農業試験場研究開発部麦類研究室

調査日：令和6年1月19日

(調査基準日1月20日)

- ニューサチホゴールドの葉齢は4.4葉、草丈は9.9cm、茎数は763本/m<sup>2</sup>であった。
- 平年より播種が遅れたが、生育は順調に進んでいる。
- 湿害対策として圃場の排水対策を行う。
- 2.5葉期を過ぎたら麦踏みを実施する。

※播種時期の降雨等の影響により、播種が平年より10日遅くなったため、本年度の生育概況は参考としたい。

## 【12月下旬～1月中旬(12月21日～1月19日)の気象概況】

宇都宮市の12月21日から1月19日までの平均気温は、平年より高い4.1℃(平年差+1.0℃)であった。降水量は6.0mmと少なく、日照時間は平年比107%で平年に比べやや多かった。

## 【1月下旬(1月19日)の生育概況 農試本場(宇都宮市)】

農試本場(宇都宮市)のニューサチホゴールドの草丈は平年比81%、茎数は平年比91%であり、生育量は平年より少ない。葉齢は平年より0.7枚少なく、葉色値(SPAD)は平年比92%であった。幼穂長は平年比68%と平年より短く、幼穂長は平年比92%で、平年よりやや短かった。幼穂分化程度は「Ⅶ前～Ⅶ後」の段階であった。

## 【今後の気象動向(気象庁季節予報令和6年1月18日発表より引用)】

- 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
  - ・向こう1か月の平均気温は、高い確率70%
  - ・降水量は、平年並または多い確率40%
  - ・日照時間は、低い確率40%

項目	地域	期間	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	関東甲信地方	向こう1か月 01/20～02/19	10	20	70
		1週目 01/20～01/26	10	30	60
		2週目 01/27～02/02	10	20	70
		3～4週目 02/03～02/16	20	30	50
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 01/20～02/19	20	40	40
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 01/20～02/19	40	30	30

■低い(少ない) ■平年並 ■高い(多い)

<予報対象期間>

1か月：1月20(土)～2月19日(月)

1週目：1月20(土)～1月26日(金)

2週目：1月27(土)～2月2日(金)

3～4週目：2月3日(土)～2月16日(金)

## 【今後の管理】

### 1) 踏圧（麦踏み）

麦の状態をよく確認してから踏圧を行う。

踏圧目安：2.5 葉期を過ぎてから

踏圧回数：1 月から茎立期※直前までに 2～4 回実施

踏圧間隔：2 週間以上

※茎立期：幼穂長が 2cm を超え、茎が起立し始めるとき

ほ場が高水分状態での踏圧は土を固めてしまい、生育に悪影響を及ぼすので、ほ場の乾燥状態を確認した上で踏圧を行う（目安として靴に土がつかない程度）。

### 踏圧の効果

- |            |           |
|------------|-----------|
| ・分げつを旺盛にする | ・凍上害を防止する |
| ・根張りをよくする  | ・耐寒性を増大する |
| ・生育をそろえる   |           |

### 2) 排水対策

今後 1 か月の予報では降水量は多い確率 40% であり、降雨・降雪に備え、明きよの整備を行う。

整備のポイント

①明きよの出口が、ほ場外の排水路に接続されている。

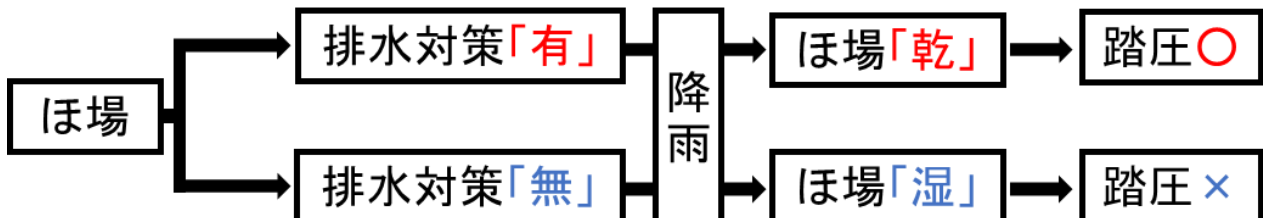
②溝が土や泥等で埋まっていない（埋まっていたらさらう）。

このような排水対策の実施により、降雨・降雪後のほ場の乾燥を促し、計画的な踏圧が可能となる。



※適切な排水対策により、降雨後でも

ほ場が乾きやすく、早い時期に踏圧ができる



**【耕種概要等】**

調査方法：ほ場調査(草丈、茎数、葉齢、葉色)  
 抜取調査(幼穂長、幼穂長、幼穂分化程度)  
 播種期：11月16日(前年11月7日・平年11月6日)  
 播種量等：条間22cmの手播き、播種量226粒/m<sup>2</sup>設定  
 施肥：

	施肥量(kg/10a)			備考
	N	P	K	
基肥	7.0	9.0	7.0	BB ビール麦エース 14-18-14 50kg/10a

※前作は水稻青刈りすき込み、堆肥1.0t/10aを施用  
 ※苦土炭カル100kg/10aを施用

踏圧：12月27日、1月19日

**【調査結果】**

農試本場(宇都宮市)における生育概況

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉齢	葉色 SPAD	正規化植 生指数 NDVI	幼穂 長 mm	幼穂長 mm	幼穂 分化程度
ニューサチホ ゴールデン	本年	9.9	763	4.4	32.3	0.29	2.0	1.1	5.8
	前年	13.6	1265	5.9	38.5	0.57	2.0	1.1	5.8
	比・差	72%	60%	-1.5	84%	51%	100%	100%	0
	平年	12.1	843	5.1	34.9	0.42	3.0	1.2	4.9
	比・差	81%	91%	-0.7	92%	69%	68%	92%	0.9
サチホ ゴールデン	本年	10.0	842	4.6	43.8	0.30	2.7	1.6	5.9
	前年	15.6	1236	6.0	37.9	0.58	2.7	1.6	5.9
	比・差	64%	68%	-1.4	116%	51%	100%	100%	0
	平年	12.0	828	5.1	35.0	0.42	3.0	1.2	4.9
	比・差	83%	102%	-0.5	125%	70%	90%	132%	1.0
シュンライ	本年	7.0	601	3.8	36.1	0.27	—	—	—
	前年	11.1	993	4.7	41.7	0.53	2.0	0.7	4.4
	比・差	63%	61%	-0.9	87%	50%	—	—	—
	平年	8.8	677	4.2	40.6	0.40	1.5	0.7	3.5
	比・差	79%	89%	-0.4	89%	66%	—	—	—
さとのそら	本年	8.0	614	4.2	37.8	0.25	—	—	—
	前年	12.5	1010	5.4	47.8	0.51	1.5	0.7	2.0
	比・差	64%	61%	-1.2	79%	48%	—	—	—
	平年	11.3	775	5.0	46.0	0.42	1.5	0.4	1.9
	比・差	71%	79%	-0.8	82%	59%	—	—	—

注1) NDVI：植物体の近赤外域の反射率と赤の反射率から求められ、植生の量や生育の良否を指数化したもの  
 注2) 前年及び平年差は、分化程度を下記階級値に変換して計算した。

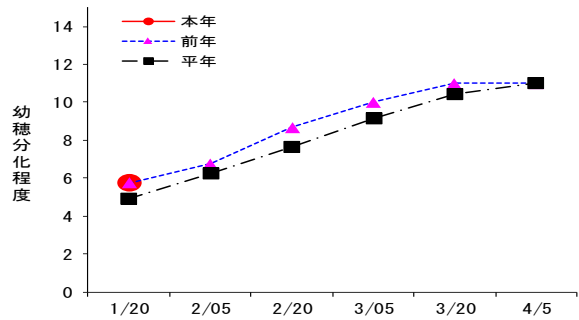
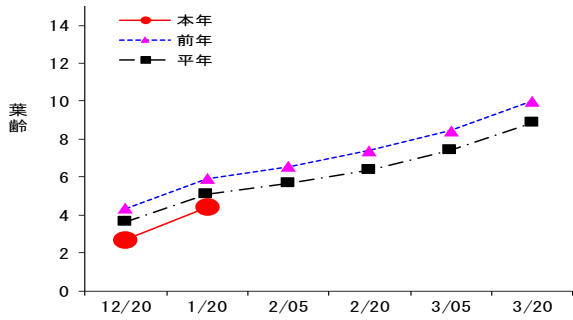
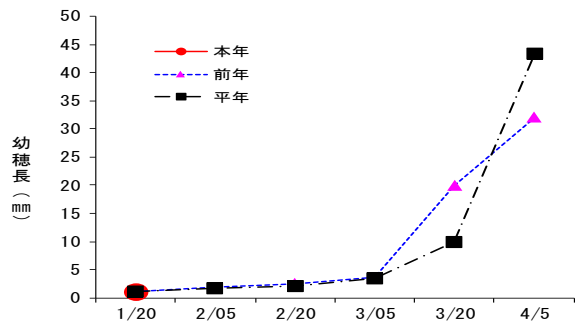
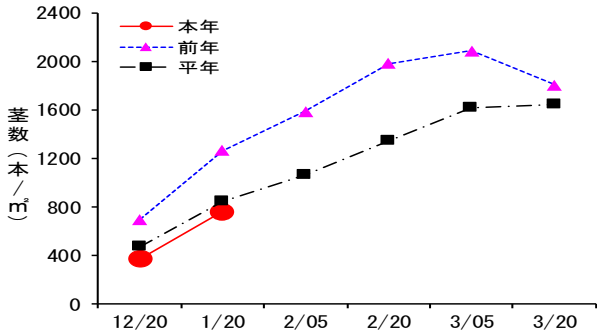
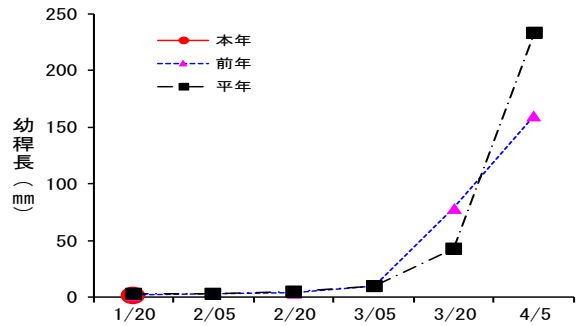
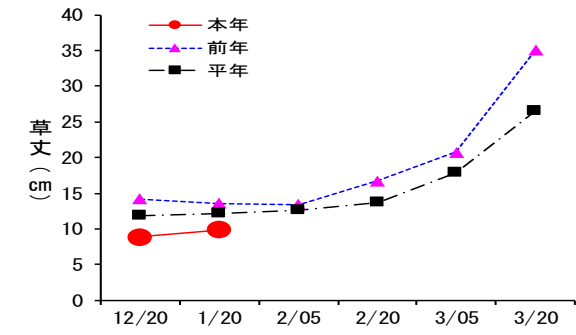
V：2 VI：3 VII前：4 VII後：5 VIII：6 IX前：7 IX中：8 IX後：9 X：10 X以降：11

注3) 小数点以下第2位を四捨五入してあり、実際の差と一致しない場合がある

※平年値：ニューサチホゴールデン及びサチホゴールデンは平成25～令和4年度(10年間)その内NDVIは平成29年～令和4年度(6年間)、シュンライ、さとのそらは令和元年～令和4年度(4年間)

※シュンライ・さとのそらの幼穂長、幼穂長、幼穂分化程度の調査については、幼穂分化期まで生育していないため今回の調査では未測定とした。

# 【ニューサチホゴールデン生育調査結果（農試本場）】



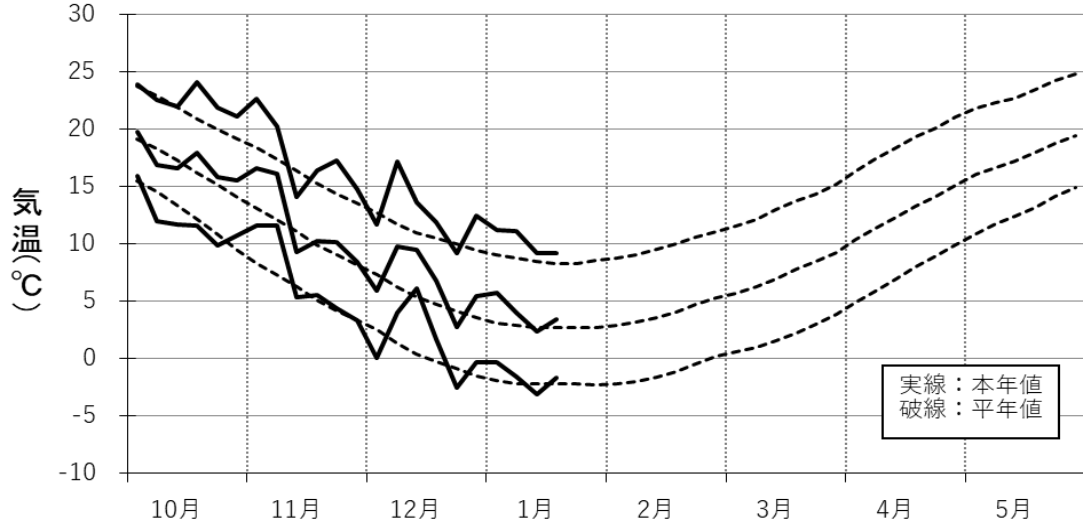
注) 幼穂分化程度は下記階級値に変換  
 V : 2 VI : 3 VII前 : 4 VII後 : 5 VIII : 6 IX前 : 7  
 IX中 : 8 IX後 : 9 X : 10 X以降 : 11



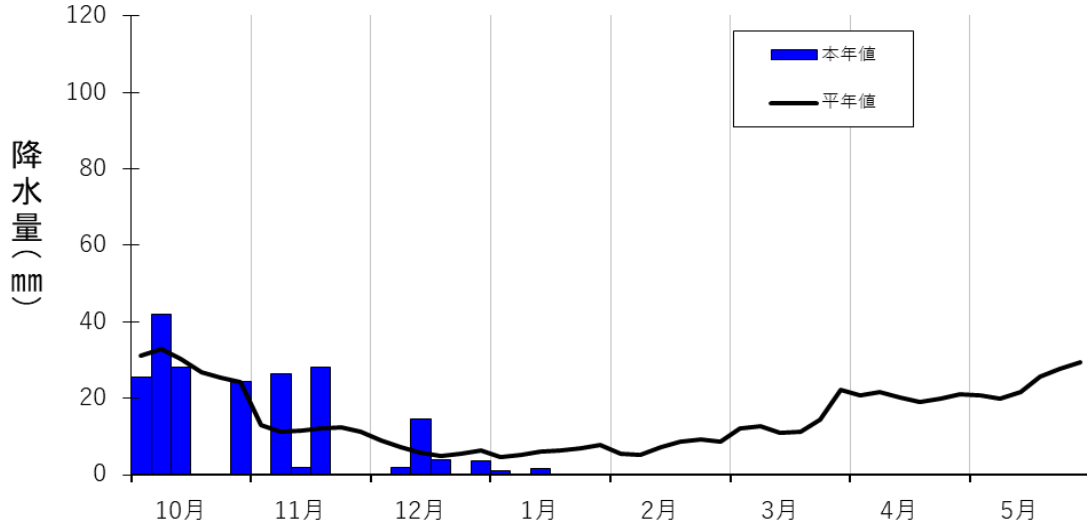
ニューサチホゴールデン 2023年11月16日播種 (2024年1月19日撮影)

【気象概況】

半旬別平均気温の推移(観測地点: 栃木県宇都宮市)



半旬別積算降水量の推移(観測地点: 栃木県宇都宮市)



半旬別積算日照時間の推移(観測地点: 栃木県宇都宮市)

